

もりやし
守谷市

じょうれいせいてい
こどもまんなか 条例制定ワークショップ

じっしほうこくしょ
実施報告書



れいわ ねん がつ
令和8年9月



もりやし
守谷市

もくじ 目次

1. 実施目的	1
2. 実施スケジュール	1
3. 小中学生が学習した内容	2
4. アンケート集計結果	6
5. ワークショップ各回の内容	13
第1回ワークショップ	13
第2回ワークショップ	17
第3回ワークショップ	21
高校生ワークショップ（守谷高等学校）	24
高校生ワークショップ（わせがくPURE高等学校守谷キャンパス）	27
高校生ワークショップ（つくば開成高等学校 守谷校）	29
第4回ワークショップ	32
第5回ワークショップ	33
6. こどもまんなか条例制定ワークショップ参加者アンケート集計結果	36
7. こどもまんなか条例制定ワークショップ発表会	
おとなの誓いアンケート集計結果	39

1. 実施目的

守谷市では、「こどもまんなか条例」という、こどもの気持ちや意見を大切にす
るルールをつくろうとしています。そのために、令和7年度に小学校4年生と
中学校2年生のみなさんにアンケートを行い、みんながどんな権利に興味があ
るか、どんなことが守られていないと感じているか、どんなことが守られているか
を調べました。

ワークショップは、アンケートの結果をもとに、こどもたちが自分の意見や気持
ちを出し合って大人に伝え、みんなが安心して楽しくすごせるルール（条例）を
つくることが目的です。

2. 実施スケジュール

かい 回	にちじ 日時	かいじょう 会場	ないよう 内容
だい かいめ 第1回目	れいわ ねん がつ にち ど 令和8年5月23日（土） じ ふん じ ふん 10時00分～12時00分	もりりん ちゅうおう 中央	こ 子どもの権利を学ぼう アンケートの回答を見て意見を言おう
だい かいめ 第2回目	れいわ ねん がつ にち ど 令和8年5月30日（土） じ ふん じ ふん 10時00分～12時00分	もりりん ちゅうおう 中央	こどもの思いとおとなへのメッセージを話し合 う
だい かいめ 第3回目	れいわ ねん がつ にち ど 令和8年6月6日（土） じ ふん じ ふん 10時00分～12時00分	もりりん ちゅうおう 中央	はっぴよう 発表の準備をしよう
こうこうせい 高校生	れいわ ねん がつ にち か 令和8年6月9日（火） じ ふん 16時00分～	もりや 守谷 こうとうがっこう 高等学校	みんなの意見をこどもの思いとおとなへのメッセ ージにしよう
こうこうせい 高校生	れいわ ねん がつ にち すい 令和8年6月10日（水） じ ふん 13時30分～	わせがく びゅあこうとうがっこう PURE高等学校 もりや 守谷キャンパス	みんなの意見をこどもの思いとおとなへのメッセ ージにしよう
こうこうせい 高校生	れいわ ねん がつ にち もく 令和8年6月11日（木） じ ふん 13時30分～	つくば かいせいこうとうがっこう 開成高等学校 もりやこう 守谷校	みんなの意見をこどもの思いとおとなへのメッセ ージにしよう
だい かいめ 第4回目	れいわ ねん がつ にち ど 令和8年6月13日（土） じ ふん じ ふん 10時00分～12時00分	もりりん ちゅうおう 中央	こどもの思いとおとなへのメッセージを発表しよ う
だい かいめ 第5回目	れいわ ねん がつ にち ど 令和8年9月26日（土） じ ふん じ ふん 10時00分～12時00分	もりりん ちゅうおう 中央	こどもまんなか条例をみてみよう

しょうちゅうがくせい がくしゅう ないよう

3. 小中学生が学習した内容

子どもの権利条約とこども基本法について

こどものけんりじょうやくとこどもきほんほうについて

子どもの権利条約とは？



子どもの権利条約とは？

18歳未満の子どもの「権利の主体」と位置づけ、全ての子どもの権利を保障するための国際的な条約です。日本は1994年4月22日にこの条約に批准しました。今では、世界の196の国と地域がこの条約に批准していて、世界で最も広く受け入れられている人権条約になっています。



こ けんりじょうやく
「子どもの権利条約」は、世界中のこどもたちが幸せに、元気に、安心してくらせるようにするためのやくそくです。いろんな国といっしょに話し合って決めました。日本も1994年4月22日このやくそくを守ることにしました。

子どもの権利条約とは？



子どもの権利を包括的に明示したこの条文は、前文と本文54条からなり、子どもの生きる権利、育つ権利、守られる権利、参加する権利などに関わるさまざまな権利を具体的に定めています。
子どもの権利条約の基本的な考え方は、次の4つで表されています。

子どもの権利条約の「4つの原則」

差別の禁止
さべつのないこと
(差別のないこと)

子どもの最善の利益
こどもにとって最もよいこと

生命、生存及び発達に
対する権利
いのちをまもりいっしょにやうでるこ
(命を守られ成長できること)

子どもの意見の尊重
いっしょにきくうしろいさんかできると
(意見を表明し参加できること)



けんり
こどもには大きくわけて4つの権利(大切にされること、してもいいこと)があります。それは①「さべつのないこと」②「こどもにとってもっともよいこと」③「いのちをまもられせいでうでるこ」④「いっしょをひょうめいしさんかできるこ」です。

子どもの権利条約とは？



こども基本法とは？



こども基本法とは？

2022年6月に成立し、2023年4月に施行されました。

すべてのこどもが幸せな生活を送ることができる社会を目指して、その基本的な考え方をはっきりとさせ、国や都道府県、市区町村など社会全体で、こどもに関する取組「こども施策」を進めるためにつくられました。これから国や都道府県、市区町村は、このこども基本法の内容に沿って、こどもや若者に関する取組を進めていきます。



日本のこどもたちが幸せにくらせるように、国や大人がみんなできょうりよくして、こどもたちのことを一番に考えようという国がきめたやくそくです。

こども基本法とは？



こども基本法には、4つの基本理念と6つの基本方針が定められています。



きほんりねん
基本理念とは「なぜそれをするのか」「どんなことを大切にしたいのか」という、一番大切な気持ちや考えのこと、
きほんほうしん
6つの基本方針(みんなで守る約束)とは、こどもたちが安心してこころもからだも健康にすくすく成長するために一番大切な考え方です。



子ども基本法「4つの基本理念」

差別の禁止

どんな子ども、生まれた場所や体のこと、好きなことで差別されません。

生命、生存及び発達に対する権利

子どもたちが安心して暮らせるように、いじめや虐待から守ったり必要な時に助けてくれます。

子どもの意見の尊重

子どもたちが自分の意見を言えるように、色々な機会をつくってくれます。

子どもの最善の利益

その子にとってもっともよいことをいちばんに考えます。



子ども基本法「6つの基本方針（みんなで守るやくそく）」 （こども施策が大切にしている考え方）

- ① どんな子どもも人として大切にされること
- ② 安心して生活でき、あいじょうを受けて育つことができること
- ③ 自分にかかわることは、自分で意見を言えること
- ④ 年れいやせいちょうに合わせて、一番よいことがゆうせんされること
- ⑤ 子育ては家庭をきほんに、みんなで助け合うこと
- ⑥ 子どもたちが楽しく幸せな家庭や社会をつくること



こども施策（みんなで守る約束）とは？

- ・おとなになるまでの心や身体のサポートをすること
たとえば・・・いばしょづくり、いじめたいさくなど
- ・子育てをする人たちへのサポートをすること
例えば・・・はたらきながら子育てしやすいかんきょうづくりやこまった時に
話せる場所や助けをもとめられる場所をつくること



こどもって何さいまで？

- ・こども基本法では、18さいや20さいといった年れいでサポートがなくなるらないよう、心と身体のせいちょうのとちゅうにある人を「こども」としています。こどものそれぞれのようすにあわせて社会で幸せにくらしていけるよう、ささえていきます。



こどもの権利条約やこども基本法についてわかりましたか？

つぎのクイズに答えてかくにんしてみましょう！



子どもの権利クイズ



クイズ1

こども基本法でこどもはなんさいまで？

- ① 16さいまで
- ② 18さいまで
- ③ 20さいまで
- ④ 心と身体のせいちょうのとちゅうにある人





クイズ1 こたえ④

こたえは④の心と身体のせいちょうのとちゅうにある人
子どもの権利条約では、子ども＝18歳までとしています。
こども基本法では、18歳や20歳といった年れいでサポートが
受けられなくならないよう、心と身体のせいちょうのとちゅうにある
人を「こども」としています。

クイズ2 だれのけんり（大切にされること、 してもいいこと）が大切だろう？

- ① 自分のけんり
- ② 友だちのけんり
- ③ どちらも



クイズ2 こたえ③

こたえは③のどちらも。子どもはみんな同じけんりを持っています。
おたがいに守りたいけんりがぶつかり合うことがあったら、おたが
いの守りたいけんりを大切にしながらどんなかいけつ方法があるか
いっしょに話し合ってみよう。

クイズ3 こどもの施策（みんなで守るやくそ く）に対して子どもが意見を言うこと はできる？

- ① できない（大人がきめる）
- ② できる



クイズ3 こたえ②

こたえは②のできる。

子どもの意見を大切にすることは、子どもの権利条約の4つの原則の一つ
です。

けんりじょうやく

げんそく

クイズ4 子どものけんりは宿題をやらなかったりや くそくを守らなかったりすると取り上げられ る？

- ① はい
- ② いいえ





クイズ4 こたえ②

こたえは②のいいえ。

けんりは、子どものけんりを含めて、すべての人が生まれたときから持っているもの。もちろんやるべきことや守るべき約束はあるけれど、「子どものけんり」はそれらと引きかえにあたえられたり取られたりするものではない。

クイズ5 子どもが言うことを聞かないときや悪いことをした時も、大人はたいたりぶったりしてはいけない。

- ① はい
- ② いいえ



クイズ5 こたえ①

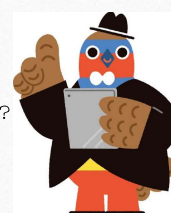
こたえは①のはい。

子どもの権利条約^{けんりじょうやく}では、どんな理由でも子どもがぼうりよくをふるわれたり、ひどいあつかいを受けることがあってはならないと定めています。ぼうりよくで子どもにいたい思いをさせたり、言葉で心をきずつけるようなことはゆるされません。

子どもの権利条約やこども基本法について、りかいできましたか？
つぎは、アンケートの回答をおねがいします。

アンケートの回答はこちらのURLからおねがいします。

https://apply.e-tumo.jp/city-moriya-ibaraki-u/offer/offerList_detail?tempSeq=77663



4. アンケート集計結果

実施期間 令和7年11月4日 ~ 令和7年11月30日 まで

対象者 守谷市公立小学校4年生、中学校2年生

あなたが通う学校はどこですか？

回答	回答数
大野小学校	18
守谷小学校	116
黒内小学校	190
郷州小学校	47
大井沢小学校	52
御所ヶ丘小学校	40
松前台小学校	42
松ヶ丘小学校	82
高野小学校	23
愛宕中学校	98
御所ヶ丘中学校	135
けやき台中学校	108
守谷中学校	125
合計	1,076

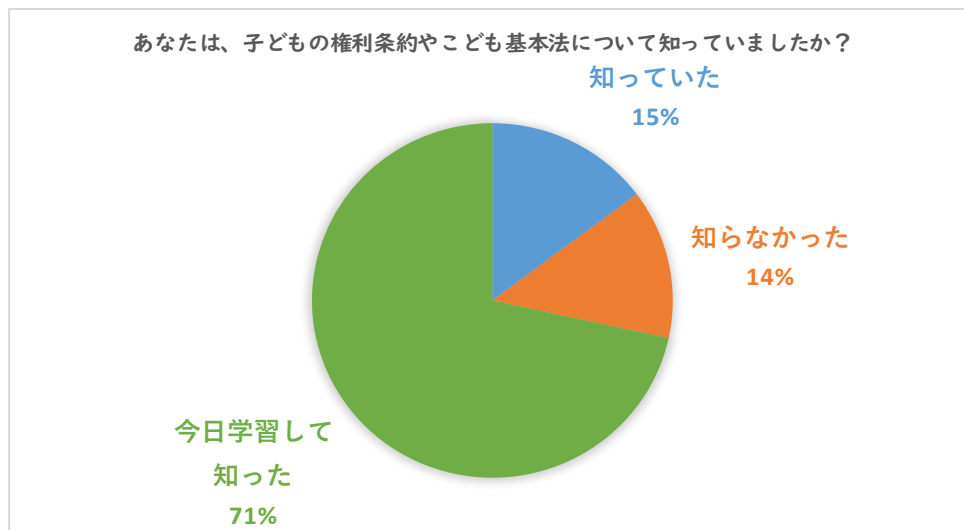
あなたの学年を教えてください。

回答	回答数
小学4年生	610
中学2年生	466
合計	1,076

市内の小学校4年生と中学校2年生の合わせて1076人の子どもたちに「子どもの権利」について学習してもらいました。そのあとで、みんなにアンケートに答えてもらいました。インフルエンザがはやって、学習やアンケートに参加できなかった子どももいましたが、たくさんの大切な意見を聞くことができました。

しつもん！ あなたは、子どもの権利条約やこども基本法について知っていましたか？

回答	小学生 回答数	中学生 回答数	合計
知っていた	90	63	153
知らなかった	83	113	196
きょうがくしゅう 今日学習して知った	436	288	724



「子どもの権利」について聞いたところ、153人は「もう知っていた」と答えました。でも、196人は「知らなかった」と言い、724人は「今日の学習で知った」と答えました。これは、たくさんのこどもたちが初めて「子どもの権利」を知ったことをあらわしています。特に小学生の方が「今日勉強して知った」人が多く、今回の学習が「子どもの権利」を知るきっかけになったことがわかります。

しゅもん 2 きょう がくしゅう なか し おも なん
今日の学習の中で、あなたがもっと知りたいと思ったことは何ですか？

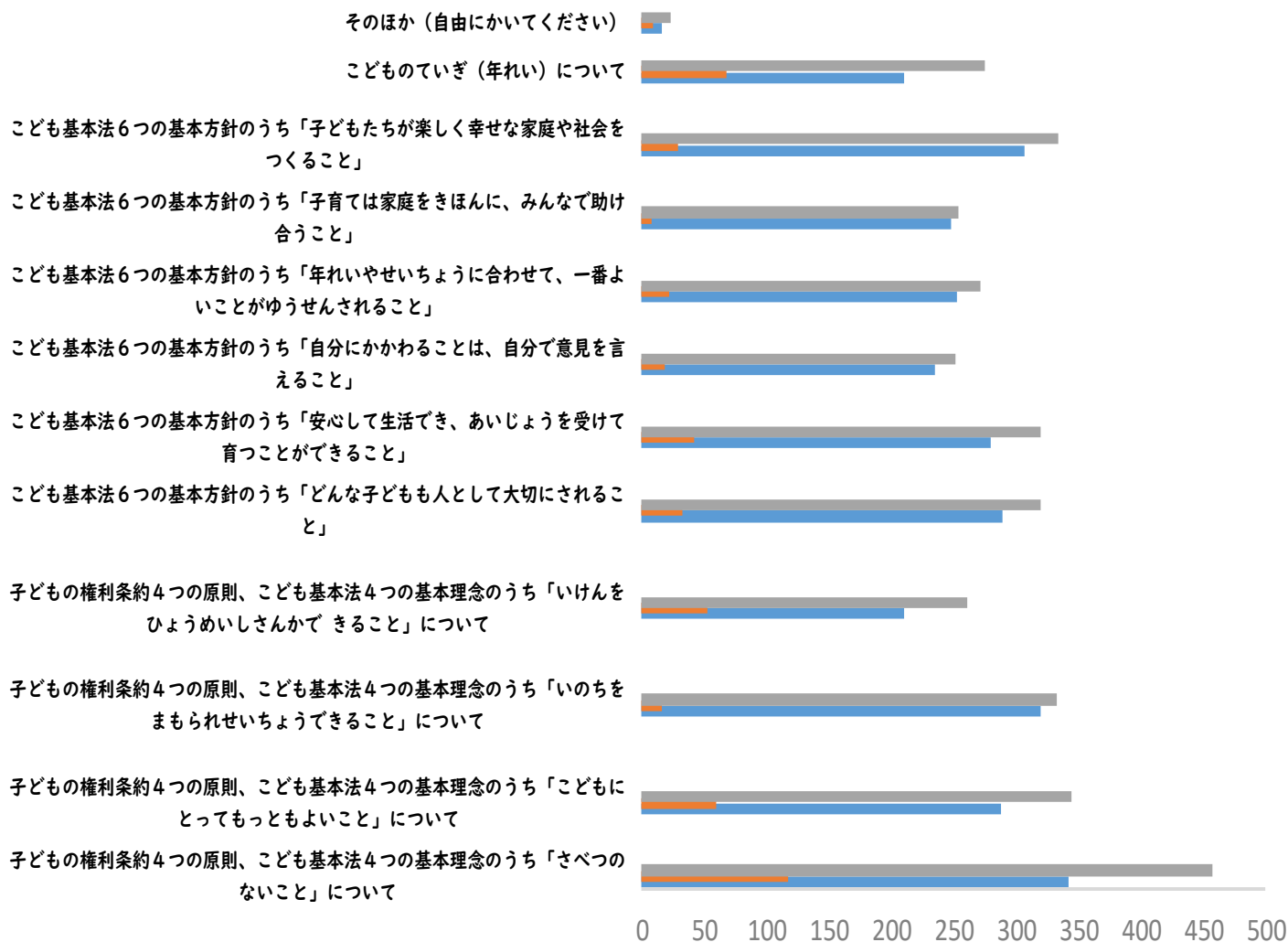
かいとう 回答	しょうがくせいとうずう 小学生回答数	ちゅうがくせいとうずう 中学生回答数	ごうけい 合計
こ けんりじょうやく げんそく きほんほう きほんりねん 子どもの権利条約4つの原則、こども基本法4つの基本理念のうち 「さべつのないこと」について	340	115	455
こ けんりじょうやく げんそく きほんほう きほんりねん 子どもの権利条約4つの原則、こども基本法4つの基本理念のうち 「こどもにとってもっともよいこと」について	285	57	342
こ けんりじょうやく げんそく きほんほう きほんりねん 子どもの権利条約4つの原則、こども基本法4つの基本理念のうち 「いのちをまもられせいでできること」について	317	13	330
こ けんりじょうやく げんそく きほんほう きほんりねん 子どもの権利条約4つの原則、こども基本法4つの基本理念のうち 「いけんをひょうめいしさんかできること」について	208	50	258
きほんほう きほんほうしん こ ひと たいせつ こども基本法6つの基本方針のうち「どんな子どもも人として大切に にされること」	287	30	317
きほんほう きほんほうしん あんしん せいかつ こども基本法6つの基本方針のうち「安心して生活でき、あいじょ うを受けて育つことができること」	277	40	317
きほんほう きほんほうしん じぶん こども基本法6つの基本方針のうち「自分にかかわることは、自分 で意見を言えること」	233	16	249
きほんほう きほんほうしん ねん あ こども基本法6つの基本方針のうち「年れいやせいで合うに合わせ て、一番よいことがゆうせんされること」	250	19	269
きほんほう きほんほうしん こそだ かてい こども基本法6つの基本方針のうち「子育ては家庭をきほんに、み んなで助け合うこと」	246	5	251
きほんほう きほんほうしん こ たの しあわ か こども基本法6つの基本方針のうち「子どもたちが楽しく幸せな家 庭や社会をつくること」	304	27	331
こどものていぎ (年れい) について	208	65	273
そのほか (じゆうにかいてください)	14	7	21

<じゆういけん> 自由意見

- ・ 無視をする ・ 習い事を自由でできる ・ 思いやりをもって生活する
- ・ 悪いことをすると暴力を振るわれるがそのことを知りたい
- ・ 子どもが言うことを聞かないときや悪いことをした時も、大人はたたいたりぶったりしてはいけないのか
- ・ うちの親は怒ると叩いてくるし、引きずるけど (3 秒 くらい) それはあり？ (わたしが悪いけど)
- ・ 親からのぎゃくたいがなくなること ・ こども基本法の全てを知りたい
- ・ こどもにいろんな権利があることを知った ・ 全部くわしくしりたい

今日の学習の中で、あなたがもっと知りたいと思ったことは何ですか？

■ 合計 ■ 中学生 ■ 小学生
 回答数 回答数



きほんほう きほんほうしん かん とく こ たの しあわ かてい しゃかい
 こども基本法の基本方針に関しては、特に「子どもたちが楽しく 幸 せな家庭や社会をつくること」

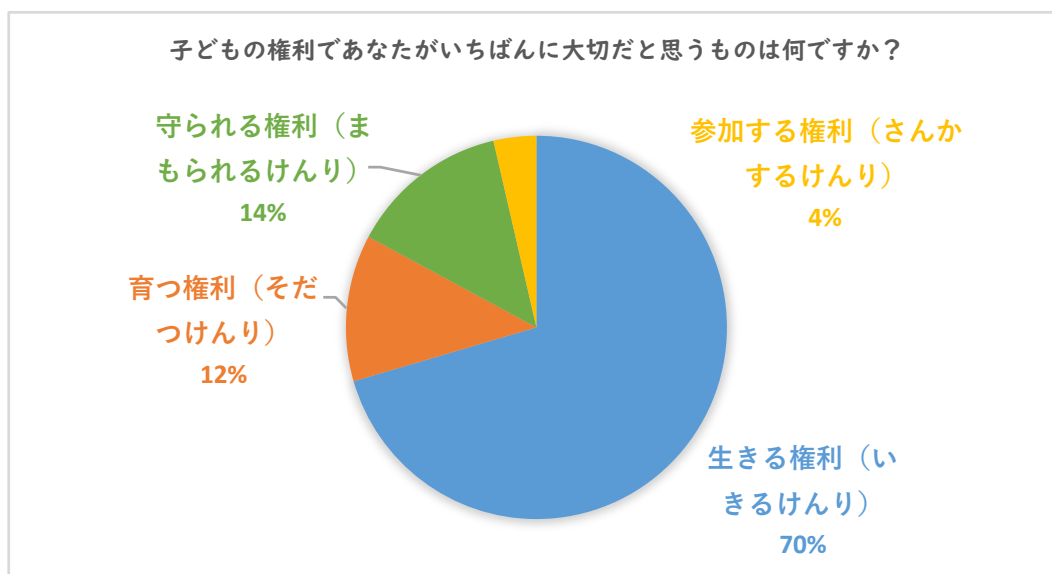
かいとう あんしん せいかつ う そだ
 (331 回答) や「安心して生活でき、あいじょうを受けて育つことができること」 (317 回答) に多く回答してくれていました。

いっぽう こそだ かてい たす あ かいとう じぶん
 一方で、「子育ては家庭をきほんに、みんなで助け合うこと」 (251 回答) や「自分にかかわることは、自分で意見を言えること」 (249 回答) などは回答数が少なめでした。

ちゅうがくせい かいとうすう しょうがくせい くら すく ねん
 中学生の回答数は小学生に比べて少ないものの、「こどものていぎ (年れい) について」は (65 件) 回答があり、中学生はこどものていぎについても関心があることがわかりました。

しつもん3 こ 子どもの権利であなたがいちばんに大切だと思うものは何ですか？

回答	小学生 回答数	中学生 回答数	合計
生きる権利（いきるけんり）	427	306	733
育つ権利（そだつけんり）	75	54	129
守られる権利（まもられるけんり）	82	76	158
参加する権利（さんかするけんり）	22	24	46



「生きる権利」が一番大切という意見が多くありました。小学生は427人、中学生は306人で、合わせて733人もいました。これは、命がとても大事だとみんなが思っていることをあらわしています。

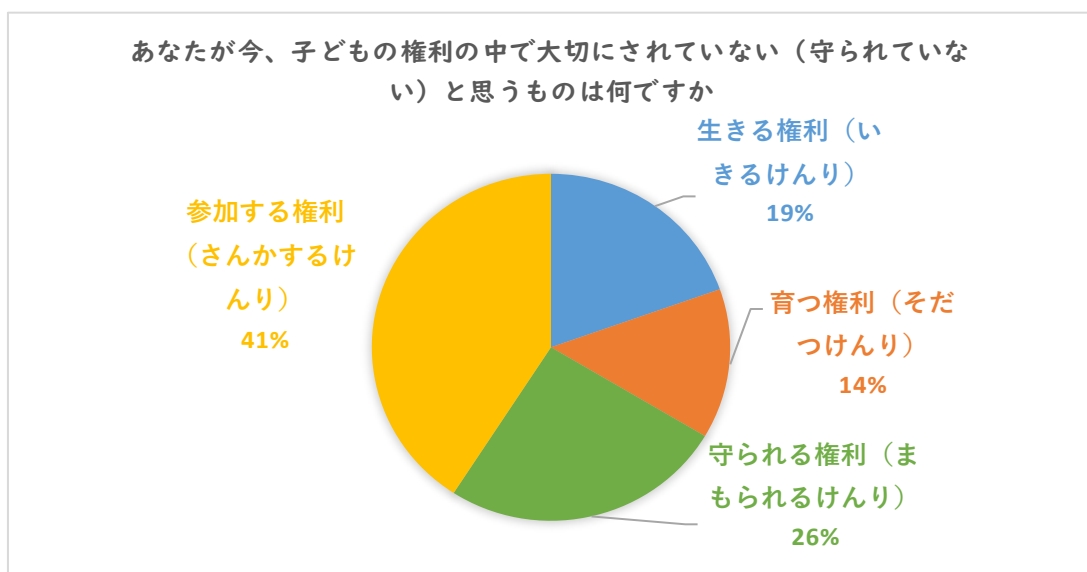
次に多かったのは「守られる権利」で、小学生82人、中学生76人の合わせて158人でした。これは、けがをしないように安全にすごすことが大切だとわかっている人がたくさんいるということです。

「育つ権利」も大切で、129人の人が答えました。これは、すくすく育てていくことを大事にしているということです。

でも、「参加する権利（みんなで意見を言ったり参加すること）」はあまり多くなくて、46人だけでした。これは、自分の思いや考えをみんなに伝えることや、みんなと一緒に決める機会が少ないことや、まだあまり関心がないことを示しています。

しつもん４ あなたが今、子どもの権利の中で大切にされていない（守られていない）と思うものは何ですか

回答	小学生 回答数	中学生 回答数	合計
生きる権利（いきるけんり）	91	80	171
育つ権利（そだつけんり）	65	49	114
守られる権利（まもられるけんり）	119	143	262
参加する権利（さんかするけんり）	190	136	326



一番多かったのは「参加する権利（みんなが自分の意見を言ったり、みんなといっしょに社会に参加すること）」で、合わせて326人のこどもが答えました。小学生は190人、中学生は136人でした。

次に多かったのは「守られる権利」で、262人が答えました。中学生の方が少し多く、143人でした。

「生きる権利」や「育つ権利」も守られていないと感じているこどもがいて、生きる権利は171人、育つ権利は114人でした。

今回のワークショップでは、みんなが「守られていない」と感じている権利について、どうしてそう思うのかをみんなで考えていきたいです。

そのほかにもっと知りたい子どもの権利はありますか？

かいとう 回答	しょうがくせいかいとうすう 小学生回答数	ちゅうがくせいかいとうすう 中学生回答数
ある（じゆうきさい 自由記載）	14	10
ない	568	436

けんり りかい せつめい ようぼう 権利の理解や説明への要望

- ・ こどもにもわかりやすい言葉で説明してほしい（例：「4年生でも分かる言葉で」）
- ・ 権利の具体的な内容や差別の意味についてもっと知りたい。

じしん けんり しゃかいもんだい かんしん 子ども自身の権利や社会問題への関心

- ・ 虐待や暴力の問題に関するコメント（「親から虐待されないルール」「暴力をなくす」）
- ・ こどもが大人を助けてよいのかなどの社会的役割に関する疑問
- ・ 平和に暮らせる権利や性別に関わる権利への関心

こどもの権利についてもっとわかりやすく教えてほしいという声がありました。たとえば、「4年生でもわかる言葉で説明してほしい」とか、「権利ってどんなことか、差別って何かをもっと知りたい」という意見がありました。

また、「親からひどいことをされないルールを作してほしい」「暴力をなくしたい」といった、いじめや暴力についての心配も聞かれました。

それから、「こどもが大人を助けていいの？」という社会での役割についての疑問や、「みんなが平和に暮らせる権利」や「男の子も女の子も同じように大切にされる権利」についても興味を持っている子がいました。

5. ワークショップ各回の内容

第1回目ワークショップ 令和8年5月23日（土）実施

参加者：小学校2年生（2名）、小学校6年生（2名）、高校3年生（1名）

▼実施内容

令和7年度に小学校4年生と中学校2年生を対象に行った「子どもの権利」と「子ども基本法」の学習とアンケート調査の結果をワークショップ参加者に紹介を行いました。その後、「容姿のこと」や「食事のこと」、「家族の関係とプライバシーに関すること」について、みんなで意見を出し合いました。

▼ワークショップの様子

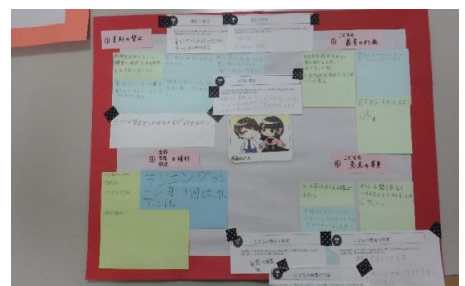


▼こどもの意見

※記載についてはふせんに書かれた原文を尊重し、そのままの内容を記載しています。

容姿のこと

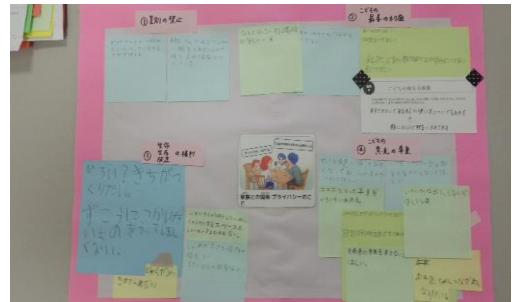
- ・かみをのばして、勝手に女子と思われるのはやめてほしい
- ・男っぽいぐさをやるって言われる
- ・低い声とか出したり、男の服とかきてもなにもいわないでほしい
- ・髪型 ポニーテール厳禁 自分で変えるなっていうのをやめてほしい
- ・勝手に服や化粧品を制限しないでほしい
- ・もともと何かおかしい見た目だとして、よくなっても引きずるのはやめた方がいいと思う
- ・運動してやせたいのに「むりだよー」って言われる
- ・髪を伸ばしてみたい
- ・除毛したい
- ・メンズケアしたい
- ・ランニングマシンが1回はやってみたい



- ・ ^{たか} ^{こえ} ^だ 高い声を出したい
- ・ ^{ひと} ^{わら} 人に笑ってもらえる服がきたい
- ・ ^{がっこう} 学校にコスプレとかスケバンとかで行ってはダメなのかなって ^{おも} 思う
- ・ ^{ようし} ^{かんけい} 容姿は関係なくいろんなひとといろんなことがしたい

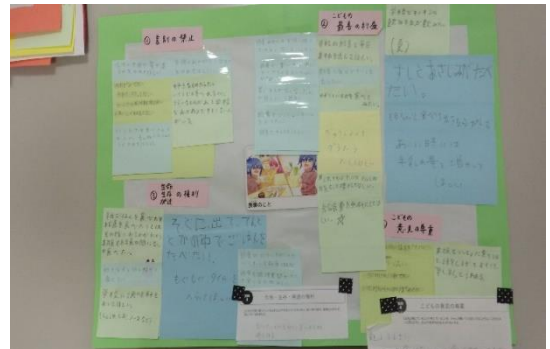
家族との関係 プライバシーのこと

- ・ ^{ねえ} ^{おうさま} お姉ちゃんが王様みたいになっているのをやめてほしい
- ・ ^{おな} ^{ふく} ^い ^{ときどきひと} ^{したぎ} ^{はい} 同じロッカーに服を入れているので時々人の下着などが入っている
- ・ ^{はは} ^{こわ} 母が怖すぎけんかもできない
- ・ ^お 追いつめないでほしい
- ・ ^{ほうち} 放置しないでほしい
- ・ ^{じぶん} ^{しんぱい} ^い ^{じぶん} ^{ははおや} ^{しんぱい} 自分のことを心配するのではなく自分（母親）のことを心配してほしい
- ・ ^{しゅうのう} ^い ^{しゅうのう} ^い ^{しゅうのう} いろいろ収納したいのに収納スペースも収納するものもない
- ・ ^{ずこう} ^{つか} ^う 図工に使いたいものを売ってほしくない
- ・ ^{ひろ} ^{きち} ^{つく} 広い基地を作りたい
- ・ ^{しゅみ} ^{ばしょ} 趣味ができる場所がほしい（裁縫の部屋など）
- ・ ^{じゅく} 塾をやめさせてくれない
- ・ ^{ねえ} ^{なかよ} お姉ちゃんと仲良くなりたい
- ・ ^す ^{とも} ^{かえ} ^{おそ} ^{しか} 好きな友だちと帰って遅くなって叱られるのをやめてほしい
- ・ ^{こっそり} ^や ^{てい} ^{しゅみ} ^{さぐ} っている趣味などを探らないでほしい
- ・ ^{スマホ} ^と ^{しゃしん} ^い で撮った写真をいちいち言われる
- ・ ^{じぶん} ^も ^{もの} ^か ^て ^す 自分の持ち物を勝手にあげたり捨てたりしないでほしい（相談してほしい）
- ・ ^{パーソナル} ^{スペース} ^{はい} に入ってくないでほしい



食事のこと

- ・ ^{がっこう} ^{きゅうしょく} ^{まいにちくだもの} ^だ 学校の給食で毎日果物を出してほしい
- ・ ^{きゅうしょく} ^だ 給食にデザートを出したい
- ・ ^{めづら} ^た 珍しいものを食べてみたい
- ・ ^{すし} ^{とおさしみ} ^が ^{たべたい}
- ・ ^{きゅうしょく} 給食にグラノーラをだしてほしい
- ・ ^{きゅうしょく} ^{こじんこじん} 給食のケーキを個人個人ではなくホールにしたい
- ・ ^{きゅうしょく} ^{あつ} ^ひ ^{つめ} ^{ごおり} ^だ 給食で暑い日には冷たいスープやかき氷などを出してほしい
- ・ ^{くり} ^{はん} ^{かな} 栗ご飯がなくなったのは悲しい（給食）



- ・あつときは牛乳の量を増やしてほしい
- ・給食でジンジャーエールが出したい
- ・もうちょっと食べる量を増やして
- ・給食でキャラ弁がほしい
- ・学校でキンキンの飲み物がのみたい（夏）
- ・先生と生徒の量が違うのはやめてほしい
- ・学校のおかわり1回まではやめてほしい
- ・強制を止めてほしい
- ・食事制限してほしい
- ・食べたくない人用の食事を増やしてほしい
- ・好きなものだったらいくらでも食べれるのに嫌いなものがある学校でおかわりできない人がいる
- ・食事のトレードを許してほしい
- ・いくらでもたべさせてほしい、食べ物の没収とかはやめてほしい
- ・朝ごはんを食べたり給食を食べたりしてもそのあとにおなかから朝食と給食の間に何か食べたい
- ・外に出てテントとかの中でご飯を食べたい
- ・好きな人と話しながら食べたい
- ・もぐもぐタイムを減らしてほしい
- ・学校に調味料を置いてほしい（しょうゆ、しお、ソースなど）
- ・給食にドリンクバーとかバイキング制度が欲しい
- ・給食を調理実習で作って食べる日が欲しい
- ・食事を作るときの協力をさせてほしい
- ・料理を作りたい
- ・父親に対してもっとゆっくり食べてほしい

▼児童館アンケート

令和8年5月19日（火）に、キ・ターレとミ・ナーデで子どもの権利についての

アンケートを行い、19名の小中高生に回答をもらいました。

※記載についてはアンケート用紙に書かれた原文を尊重し、そのままの内容を記載しています。

児童館で聞き取った意見

- ・学校での男女の違いをなくしてほしい。男子はきびしいのに女子はゆるめ
- ・先生の男子で女子について話するとき、ちょっときまずい

- 女のお子でも「ぼく」と言っていていいと思う
- 男女差別を先生がする、女子をひいきにする
- 先生がひいきにするのがおかしい
- 担任の先生がいじめをゆるさないからいまのところいじめがないところ
- 学級委員にむりやりされたのに、「学級委員のくせになにしてるのって言われる」
- 学校自体が子どもの権利を侵害し、いじめやいやがらせ、先生のひいきに対して職員たちが無視・隠ぺいをしてしまうことが権利を侵害している
- 大人と子どもの立場の両立を求める
- 子どもの話を大人がもっと聞く
- 意見の尊重は子どもに対してだけじゃなくて普通に大切
- 外国人差別はダメ
- 小さい子どもなので、差別の重大さに気づけていない部分があると思うけど大切にしたい
- 学割を増やしてほしい
- 学校をもっと近くにつくってほしい
- バイトの許可が必要なのか
- バイト制限をゆるくしてほしい
- おこづかいの量
- おこづかいがほしいからもっと給料あげて
- もっとお金ないと生活が苦しい
- 生きるためにお金をくばって
- 大人たちが頑張るといっても税金を納めるくらいだと思うが、子どものこともしっかり考えてほしい
- 元気に子どもが育つように親は頑張りたい
- 通学手段の自由
- いつも「ここにつくよ」「どこいくよ」と連絡しないで気にせず遊びたい
- 遊ぶ場所が少ない
- 暴走族を全員逮捕してほしい

ぼく・わたし あるある アンケート ～おとんに言いたいこと・してほしいこと～

1 差別の禁止 差別とは、人種・性別・年齢・障害の有無など、生まれながらの属性によって、不当に優遇・劣遇を受けること。差別は、人々の尊厳を傷つけ、社会の平和と発展を妨げる。差別をなくすことは、人々の権利を保障し、社会の公正と公平を実現するために不可欠である。	2 生命・生存・発達権の権利 生命・生存・発達権とは、人々が生き残り、生活し、成長するための権利。これは、人々の基本的な権利であり、国家や社会は、人々の生命・生存・発達権を保護し、促進する義務を負っている。生命・生存・発達権を保護するためには、安全な生活環境の整備、医療・福祉サービスの充実、教育機会の提供などが不可欠である。
3 こどもの最善の利益 こどもの最善の利益とは、こどもの権利を保護し、こどもの成長と発達を促進するために必要となる利益。これは、こどもの権利の核心であり、国家や社会は、こどもの最善の利益を最優先で考慮し、保護する義務を負っている。こどもの最善の利益を保護するためには、こどもの意見の尊重、こどもの参加の促進、こどもの権利の保護などが不可欠である。	4 こどもの意見の尊重 こどもの意見の尊重とは、こどもの意見や考えを尊重し、こどもの権利を保護するために必要となる。これは、こどもの権利の核心であり、国家や社会は、こどもの意見の尊重を最優先で考慮し、保護する義務を負っている。こどもの意見の尊重を保護するためには、こどもの意見の聴取、こどもの意見の反映、こどもの権利の保護などが不可欠である。

ぼく・わたし あるある アンケート ～おとんに言いたいこと・してほしいこと～

あなたのぼく・わたし あるあるを教えてください！

1 差別の禁止 差別とは、人種・性別・年齢・障害の有無など、生まれながらの属性によって、不当に優遇・劣遇を受けること。差別は、人々の尊厳を傷つけ、社会の平和と発展を妨げる。差別をなくすことは、人々の権利を保障し、社会の公正と公平を実現するために不可欠である。	2 生命・生存・発達権の権利 生命・生存・発達権とは、人々が生き残り、生活し、成長するための権利。これは、人々の基本的な権利であり、国家や社会は、人々の生命・生存・発達権を保護し、促進する義務を負っている。生命・生存・発達権を保護するためには、安全な生活環境の整備、医療・福祉サービスの充実、教育機会の提供などが不可欠である。
3 こどもの最善の利益 こどもの最善の利益とは、こどもの権利を保護し、こどもの成長と発達を促進するために必要となる利益。これは、こどもの権利の核心であり、国家や社会は、こどもの最善の利益を最優先で考慮し、保護する義務を負っている。こどもの最善の利益を保護するためには、こどもの意見の尊重、こどもの参加の促進、こどもの権利の保護などが不可欠である。	4 こどもの意見の尊重 こどもの意見の尊重とは、こどもの意見や考えを尊重し、こどもの権利を保護するために必要となる。これは、こどもの権利の核心であり、国家や社会は、こどもの意見の尊重を最優先で考慮し、保護する義務を負っている。こどもの意見の尊重を保護するためには、こどもの意見の聴取、こどもの意見の反映、こどもの権利の保護などが不可欠である。

第2回ワークショップ 令和8年5月30日（土）実施

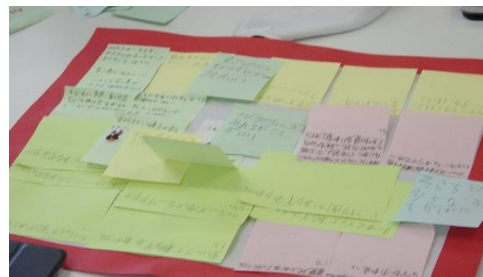
参加者：小学校2年生（2名）、小学校3年生（1名）、小学校4年生（1名）

小学6年生（2名）

▼実施内容

「遊びや余暇の大切さ・勉強のこと」「学校に行くのがつらくなったら・子どもの居場所」「アンケートで参加する権利が守られていないという意見が多かったけどどう思う？」「いうことをきかないときやわるいことをしたときに大人が怒ったりたたいたりしていいのか」「こんな守谷市になったらいいな」について意見を出し合いました。

▼ワークショップの様子



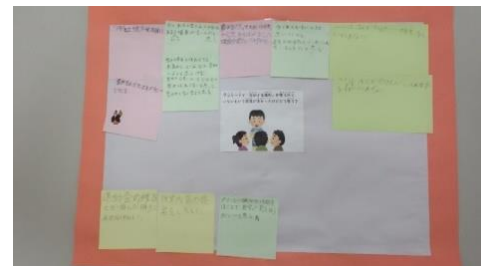
▼こどもの意見

※記載についてはふせんに書かれた原文を尊重し、そのままの内容を記載しています。

※児童館で聞き取った意見（小中高生19名分）も一部反映しています。

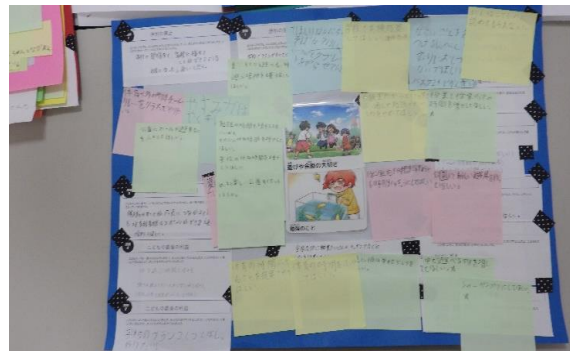
アンケートで参加する権利が守られていないという意見が多かったけどどう思う？

- ・ こういうところ（ワークショップ）を増やしてほしい
- ・ 参加する権利が守られていないんじゃないかとあまりそういう場面がないんだと思う
- ・ 参加する人は参加するからどんどんさんかしようと思うけど、参加しない人はどんどん参加したくないと思って参加しなくなると思う
- ・ パパはぼくがやりたい意見を少し聞いてくれない
- ・ ママは僕がやりたい意見をあまり聞いてくれない
- ・ 運動会の曲とか種目とか勝手に決めないでほしい
- ・ 授業内容の提案をしたい
- ・ 弟はおこってもかいつしないからっておればかおこって理由がぐたいきすぎない
- ・ まもられていないで思いつくのは親や先生などに怒られている時だと思



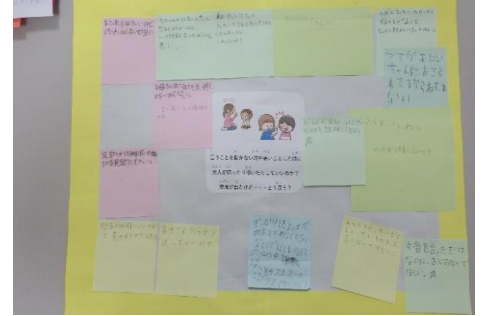
あそびや余暇の大切さ・勉強のこと

- 年代に関係なく気軽に接することができるような社会になったら楽しいと思う
- それぞれの個性を活かせる場面がほしい
- がんばってるのに認めてもらえない
- 勉強が上手くできないときに気づいてしっかりたすけてほしい
- 学校の先生のやる気がない
- 学校でテストがすべてにしないでほしい
- 勉強のことにに関する意見（例：ならいごとをおしつけるしべんきょうむりにおしつけないでほしい）
- 個人に合わせた教育、習い事を自由にしたい
- 誰でも教えてもらいながら学ぶ場を増やす（学校以外で先生がついている場所）
- 全国各地に職業体験やキッザニアなどの施設を設置してほしい
- もっとあそばせてほしい
- バスケ24じかんやらせてほしい
- 児童館でバレーがしたい
- 授業の内容が難しい
- ゲームの時間が限られている
- もっとあそぶじかんがほしい
- 公園に新しい遊具を作してほしい
- 1年生も5時間授業や6時間授業にしてほしい
- 夏、そとで遊べないときに遊ぶ場所を確保してほしい
- やすみがはやく来てほしい
- 体育で外の時間チームリレーをクラスでやりたい
- 公園にホールや遊具などをふやしてほしい
- 勉強の時間を増やしてもいいからそのぶん休み時間をふやしてほしい
- 学校の休み時間をふやしてほしい
- めっちゃ楽しい公園を作してほしい
- 夏に児童館まつりのようなイベントを増やしてほしい
- 週に1回は学校でレクをしたい
- 体育の時間をふやしてほしい
- 体育の時間にやることを提案させてほしい
- 身体を動かすことが成長につながると思うので、もっと多種多様なスポーツができるしせつをふやしてほしい
- 外で遊ぶ時間をふやす
- 学校のブランコ、くつとばしやりたい
- 学校で英検、数検、漢検たいさくしてほしい
- 自習室をつくってほしい



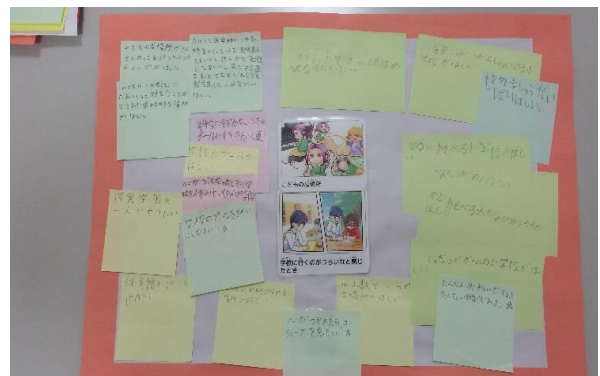
言うことを聞かないときや悪いことをしたときに大人が怒ったりたいたりしていいのか？

- ・あなたもやっているでしょっていうのを注意しないでほしい
- ・おこったりはしていいけど、どなったりはしないでほしい
- ・たたくのはよくないと思う。怒るとはちがうけど、しっかり話し合うのはいいと思う
- ・ただどなったり、たたいたりするんじゃないくて、なっとくするようにいってほしい
- ・怒るのは別にいいけれど暴力はだめだと思う
- ・がっかりしたよとか、アホとかわるぐちをいわないでほしい
- ・おにいちゃんがママにおこられているからねむれない
- ・パパおこったらこわい
- ・お母さんにおこられても言い返せないからつらい
- ・言い返したら論破される
- ・兄妹たちがどなられたり叩かれたりするのを見るだけでつらい
- ・かたづけをしないとき
- ・弟 がかつとなつてたいてくるときにやりかえしてしまうけど、これって OK？
- ・おこらなかつたらいい
- ・暴力されたらやり返していいのか



学校に行くのがつらくなったら・こどもの居場所

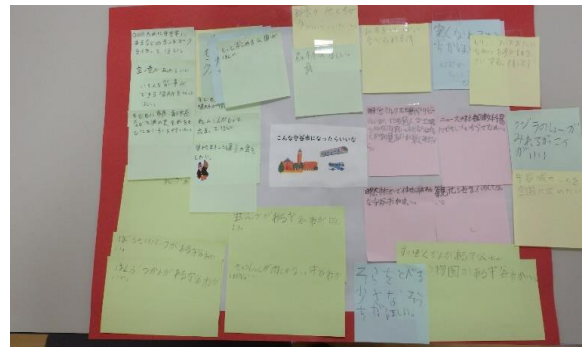
- ・少人数でいられる場所がほしい
- ・学校にひとりになれる場所がほしい
- ・市内に体育館がほしい
- ・タブレットでゲームしてほめられる場所がほしい
- ・学校に行かないときはプールに行きたい（夏）
- ・学校にぷーるがほしい
- ・心がつらくなつたときに学校を休みたい
- ・なかであそべるおおきなひみつきちがほしい
- ・校外学習がいっぱいほしい
- ・毎日校外学習行ける小学校校がほしい
- ・じゆうにあそべるしょうがっこうがほしい
- ・じゅぎょうがゲームのしょうがっこうがほしい
- ・探求学習を1人でやりたい
- ・ベンキョウめんどうくさい
- ・こどもの居場所がたくさんあつてパンフレットがほしい



- ・いつもはいなくて、たまに^すって好きなことができる^{しょうがっこうてき}小学校校的な場所^{ばしょ}がほしい
- ・月に1、2回学校に行かないときをつくって、1人^{ひとり}で勉強^{べんきょう}してもいいし、何人か^{なんにん}で勉強^{べんきょう}してもいいし、家^{いえ}でも公園^{こうえん}でもどこでもだれとでも勉強^{べんきょう}していいひをつくってほしい

こんな守谷市^{もりやし}になったらいいな

- ・もっと^{たの}楽しめる公園^{こうえん}が欲しい
- ・ぼうさいパークがあるまちがいい
- ・自然^{しぜん}豊^{ゆた}かでなかよくしあわせなまちがいい
- ・動物園^{どうぶつえん}があるまちがいい
- ・水族館^{すいぞくかん}があるまちがいい
- ・れんこんもっと^{ひろ}広まってほしい
- ・お米^{こめ}をいっぱい食べれる場所^{ばしょ}がほしい
- ・きゅうしょくが肉^{にく}しかないまちがいい
- ・きゅうしょくがすしかがいしょくがいい
- ・がっこうの^{べんきょう}がロボブロックがいい
- ・遊具^{ゆうぐ}のところが遊園地^{ゆうえんち}だったらいい
- ・くじらのショーが見^みれる学校^{がっこう}がいい
- ・学校対抗運動会^{がっこうたいこううんどうかい}をしたい
- ・明治^{めいじ}のミルクエ^{こうじょう}場やアサヒビール^{いがい}以外にもいろんなエ^{こうじょう}場をせっちしてほしい
- ・はくぶつかんがあるまちがいい
- ・観光地^{かんこうち}をふやしてほしい
- ・こどももバイトなどができる場所^{ばしょ}がほしい
- ・ロボブロック^{かつよう}を活用^{まな}した学び
- ・人間^{にんげん}が小さ^{ちい}くなれる装置^{そうち}が欲しい
- ・空^{そら}を飛^とべる小さ^{ちい}な装置^{そうち}が欲しい
- ・こどもに市長^{しちやう}、副市長^{ふくしちやう}などを決めてそれをもとにいろいろ行^{おこな}いたい
- ・もりっこフェスみたいなのを子どもも主催^{しゅさい}する
- ・ニュースや社会^{しゃかい}の教科書^{きょうかしょ}に出^でていないから出^だてほしい
- ・観光客^{かんこうきゃく}がほどよく来^きてほしい（迷惑^{めいわく}はなし）
- ・虫^{むし}ショップがあるまちがいい
- ・守谷城^{もりやじょう}のことを全国^{ぜんこく}に広^{ひろ}めたい
- ・〇〇のために守谷市^{もりやし}に来^くるなどのランドマーク^{つく}を作^{つく}ってほしい



だい かい
第3回ワークショップ
れい わ ねん がつ にち ど
令和8年6月6日（土）実施

さん かしゃ しょうがっこう ねんせい
参加者：小学校2年生（2名）、小学校4年生（1名）、小学校6年生（3名）

じっしないう
▼実施内容

みんなで出し合った意見のまとめをみて、わかりづらいことばや変えた方がいい
と思うことばを出し合いました。

ようす
▼ワークショップの様子



と け せん あかじぶぶん
※取り消し線や赤字部分がこどもたちから出た意見を反映させたところです。

さべつ
差別のないこと

- ・わたしたちは、男の子、女の子に関係なく、自分の髪のかたちやしぐさ、服を自分で選びたいです。
- ・大人もこどもも同じように注意してほしいです。
- ・好きなものはいっぱい食べたいし、嫌いなものは無理に食べたくありません。食べ物を取り上げたりしないで、みんなが自由に楽しく食べられるようにしてほしいです。
- ・みんなこどもたちが同じように大事にされ、困ったときはちゃんと助けてほしいです。
- ・自分らしく安心して過ごせる場所や、認められる機会、身体を動かして遊べる場所がほしいです。
- ・兄弟家族の中で比べないでほしいです。みんなが自分のものやロッカーのスペースを大切にできるようにしてほしいです。
- ・年齢に関係なく、個性自分らしさを生かしながら気軽に遊んだり学んだりできるとよいです。

いけん ひょうめい さんか
意見を表明し参加できること

- ・服や自分のことについて、もっと自由に気持ちを言いたいです。見た目じゃなくて、いろんな人と話したり、いろんなことをしてみたいです。
- ・おとなもたたいたりおこったりするけど、こどもは暴力をたたかれたりけられたりされたらやりかえ

したり、けんかしたときやりかえしていいのかわからない。

- ・ごはんを作るのを一緒にやりたいし、いろいろ自分のことを言いたいです。おとなもゆっくり一緒にごはんを食べてほしいです。
- ・みんなが参加できる場所やチャンスをもっとふやしてほしい。
- ・自分の思っていることを言いやすい場機会がもっとほしい。
- ・自分の意見をちゃんときいてもらいたいし、大事にしてほしい。
- ・大事なことをみんなで決められるようになりたい。
- ・勉強や学校がいやになったときに行ける場所がわからない。
- ・学校を休んで好きなことができる場所や仲間友だちと勉強できる日があるといい。
- ・お姉ちゃんいろいろな人と仲よくしたいし、友だちと遅くまで遊んでいて怒らないでほしい。スマホの写真もわたしたちのことにいちいち口出ししないでほしい。ものは勝手に人にあげたり捨てたり、たいせつな場所に入ったりせず、ちゃんと聞いてから入ってほしい。
- ・英検・数検・漢検などの対策をせずテストに合格できるよう準備や作戦を一緒に考えてくれたり、集中して学べる自習室があるといい。
- ・こどもリーダー（こども市長やこども副市長）をきめて、自分たちの意見を言ったり、いろいろなことを体験できたらうれしいです。

こどもにとってもっともよいこと

- ・わたしたちががんばってやっていることや、これからやろうとしていることを、そっと見まもってほしいです。
- ・おこるのはいいけれど大きな声を出したりたたいたりしないでこどもがわかるようにはなしあってほしい。
- ・給食をもっとおいしくて楽しいものにして、季節にぴったりのメニューやデザートも出してほしいです。食べる量や飲み物も工夫して、みんなが元気に大きくなれるようにしてほしいです。
- ・心がつかれたらゆっくり休んだり、自宅学習をしたり、みんなが楽しく過ごせる日があるとうれしい。
- ・おかあさん家族や先生がこわくて、ほんとうの気持ちを言えなくてつらい。おこったりしないで、やさしく話を聞いてほしい。
- ・わたしのことだけでなく、おかあさん家族のことも心配してる。
- ・がんばりや個性自分らしさ（自分は自分）を認めてもらい、自分に合った学び勉強や遊びの場できちん助けてもらいたい。みていてほしい。
- ・テストだけで評価せず決めつけなくて、学校や地域でいろいろな学びや職業お仕事体験の機会を増やしてほしい。
- ・ニュースや教科書にものるくらい、みんなに知られるいいまちになってほしいです。
- ・森や林、お城や地域の歴史を大切にして、みんなに知ってもらえるようにしたい。

いのち まも せいちょう 命を守られ成長できること

- ・わたしたちが自分らしく のびのび成 長できるよう、生活の支援や見守りをお願いします。
- ・おとなに大きな声で怒られたりたたかれたりすると、こわくて安心してきずつらい気持ちになります。
- ・朝ごはんを食べてもすぐおなかがすくから、朝ごはんはと給 食のあいだにちょっと食べられるものがあるほしい。食事はみんながもっと楽しく食べられるように、いろんな工夫をしてほしいしおしゃべりしながら楽しく食べたい。
- ・自分の好きなことやペースに合わせて自由に学び、遊びながら安心して成 長したい。
- ・好きなことができる場所や部屋がほしいし、習い事のことでもわたしの気持ちをちゃんと聞いてほしい。
- ・遊びやスポーツの時間を増やし、休み時間や放課後の時間もたくさん遊びたい。夏や外で遊べない時期の遊び場もつくってほしい。
- ・児童館や公園に 新 しい遊具やホール、いろいろなスポーツができる施設場所をつくってほしい。
- ・体育の授業や学校でのレクリエーション遊びやお楽しみ会を増やし、内容の提案やチーム活動など参加できる機会をつくってほしい。
- ・先生も親も、勉強はこどもにあわせてわかりやすくおしえてほしい。勉強する時間も大切だけど十分休む時間も作ってほしい。
- ・博物館みたいな楽しいところや、いろいろ学べる場所があると、こどもたちは自分の好きなことをのびのびと学んで、もっと大きくなれると思います。
- ・給 食はこどもが好きなものやおいしいものをたくさんだしてほしいです。



じ 6時から もりやこうとうがっこう 守谷高等学校

さんかしや こうこう ねんせい めい 参加者：高校3年生（4名）

▼実施内容

令和7年度に小学校4年生と中学校2年生を対象に行った「子どもの権利」と「子ども基本法」の学習とアンケート調査の結果を高校生に紹介し、その後、アンケートやワークショップで集まった「こどもの思い」を見て意見交換を行いました。最後に、その「こどもの思い」をまとめるリード文について話し合い、全員で案を作成しました。

▼ワークショップの様子



▼高校生からの追加工見

※記載についてはワークシートに書かれた原文を尊重し、そのままの内容を記載しています。

差別のないこと

- ・趣味をバカにしてほしくない
- ・否定をしないでほしい
- ・容姿などの身体で決めつけをしないでほしい
- ・よその子と比べないでほしい
- ・人種差別
- ・他の人との比較
- ・子どもだからできるわけないと止めないでほしい
- ・大人による行動の強制化の防止
- ・第三者による強制的な議論の決着の防止

意見^{いけん}を表明^{ひょうめい}し参加^{さんか}できること

- ・人^{ひと}それぞれに合わせ^あてて話^{はなし}を聞^きいてもらえ^{ひと}るような人^{ひと}がいること
- ・おとなだと直^{ちよく}接^{せつ}言^いいづらいこともあるから、匿名^{どくめい}機能^{きののう}を使^{つか}ってウェブなどで気持^{きも}ちをもっと伝え^{つた}えられ
るようにしたい
- ・年齢^{ねんれい}関係^{かんけい}なく集^{あつ}まる場^ばがほしい。様々^{さまざま}な年齢^{ねんれい}層^{そう}とふれあいたい
- ・様々^{さまざま}な人^{ひと}と関^かわれる場^{ばしょ}所

こどもにとってもっともよいこと

- ・その人^{ひと}それぞれに合わせ^あせた教^{きょう}育^{いく}など^{せいちょう}で成^{せい}長^{ちやう}を補^ほ助^{じょ}してほしい
- ・興^{きょう}味^みによつて知^ち識^{しき}を付^つけられ^{かんきやう}るような環^{かん}境^{きやう}が欲^ほしい
- ・したいこと^{あんぜん}に安^{あん}全^{ぜん}に挑^{ちやう}戦^{せん}できること
- ・友^{とも}達^{だち}と比^{くら}べないでほしい
- ・テス^{てん}ト^{すう}の点^{てん}数^{すう}だけ^{がっこう}でなく、学^が校^{こう}生^{せい}活^{かつ}の態^{たい}度^どや日^ひ頃^{ごろ}のこともみ^ひてほ^ごしい
- ・しかるときは、た^{いっ}だ^{ぽう}一^{てき}方^{てき}的^{てき}にしか^こるの^{いけん}ではなく、子^こども^{いけん}の意^き見^{けん}を聞^きいてその意^{いけん}見^{けん}からダ^ぶメ^{ぶん}な部^ぶ分^{ぶん}だけ
をし^{しか}っ^てほ^ほしい
- ・子^こども^こにもプ^{まも}ライ^{まも}ベ^{まも}ート^{まも}があるから守^{まも}ってほ^{まも}しい。
- ・自^じ分^{ぶん}だけ^{ぜんいん}でなく全^{ぜん}員^{いん}がのび^すのびと過^すごせ^するよ^すうに^すする
- ・子^こども^こがや^{おも}りたいと思^{おも}ったこと^{いちど}を一度^いでい^いか^いら^いや^いら^いせ^いて^いみ^いる
- ・子^こども^こにも親^{おや}に知^しられ^りたく^りない^りこ^りがある^りこ^りを理^り解^{かい}してほ^りしい

命^{いのち}を守^{まも}られ成^{せい}長^{ちやう}できること

- ・成^{せい}績^{せき}や性^{せい}格^{かく}によつて頑^{がん}張^ぱつても表^{おもて}に出^でる成^{せい}果^かには差^さがあるけど、努^{どり}力^{りよく}を認^みめてほ^みしい
- ・昼^{ひる}寝^ねの時^じ間^{かん}の確^{かく}保^ほ
- ・ひと^{しん}りひと^{しん}りの進^{しん}度^どにあ^{じかん}った時^じ間^{かん}



わたしたちは、^{あんぜん}安全に守られながらのびのびと^{じぶん}自分の好きなことを^{そんちよう}尊重して^{せいちよう}成長していき
たいです。

[illegible]

みんなで考えた「こどもの思い」をまとめ、大人へのメッセージにしよう。

各グループがワークショップで話し合ってきた意見や、自分も意見があったら付け足していくぞ！

「いい意見だ」「そう思う」と思った意見はいいね(ハート)を貼ってね！



「こどもの思い」を「大人へのメッセージ」にまとめてみよう！



差別の定義

- わたしとは、肌の色、髪の色に関連なく、自分の髪のかたちやしぐさ、服を着て遊びたいです。
- 大人も子どもと同じように注意してほしいです。
- 好きなものをいっしょで食べていい。嫌いなものは無理に食べなくても大丈夫。食べ物を取り上げたりしないで、みんなが自由に楽しく食べられるようにしてほしいです。
- 子どもたちが同じように大事にされて、困ったときはちゃんと助けてほしいです。
- 自分らしく笑っていて過ごせる場所や、送れる機会、身体を動かして遊べる場所がほしいです。
- 言葉の中で使われてほしくないです。みんなが自分のものやスペースを大切にできるようにしてほしいです。

年齢に関連なく、自分らしさを活かしながら異種にも通ずる思いや考えをよびます。

希望 友達の条件で決まったらいいかな？

○ *おともだちとていいな*

(希望) *お友達同士がいいな！*

➡

「こどもの思い」

各グループが話し合った内容をいっしょに読んでみて、自分が感じたことや思ったことを書いてみましょう。

「話さないでメッセージ」

例文：わたしたちは動物園を訪問し、人々が動物から遠く離れたところに動物をつくりました。

動物たちは泣きました。彼らは動物園に来たのは初めてです。

動物園には動物園があります。動物園には動物園があります。

動物園には動物園があります。動物園には動物園があります。



じ ぶん もりや
13時30分から わせがく PURE 高等学校守谷キャンパス

さん かしゃ こうこう ねんせい めい こうこう ねんせい めい
参加者：高校2年生（4名）、高校3年生（1名）

▼実施内容

令和7年度に小学校4年生と中学校2年生を対象に行った「子どもの権利」と「こども基本法」の学習とアンケート調査の結果を高校生に紹介し、その後、アンケートやワークショップで集まった「こどもの思い」をもとに、「おとなへのメッセージ」をみんなで出し合い、まとめました。

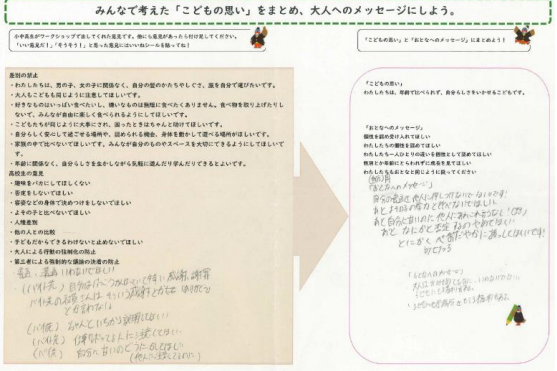
▼ワークショップの様子



▼高校生からの意見

※記載についてはワークシートに書かれた原文を尊重し、そのままの内容を記載しています。

こうこうせい いけん 高校生の意見	まとめ（おとなへのメッセージ）
・がんばりをちゃんとほめてほしい ・自分の場所が少ない（プライバシー） ・自分の普通を他人に押し付けないでほしいです ・よその子の学力と比べないでほしい ・自分に甘いのに他人にあれこれ言うな！ ・なにかと否定するのはやめてほしい ・心穏やかに接してほしいです ・体調をスマホのせいにしないで ・好きな髪形にしたいからおとなはそれを認めてほしい ・かみをそめちゃだめってかってにきめないで ・すぐろんぱしてくる	・こどもは自分のことを自分で決めたいです。おとなにはその意思を尊重してほしいです。 ・こどもはがんばりを認めてほめてもらいたいです。おとなはこどもの話をよく聞いて、その努力を受け止めてほしいです。 みんなで考えた「こどもの思い」をまとめ、大人へのメッセージにしよう。 「こどもの思い」をまとめた「おとなへのメッセージ」 「おとなへのメッセージ」 「おとなへのメッセージ」

びょうどう せつ ・ 平等に接してほしい	
・ 慣い事を勝手に新しく入れないでほしい ・ もっと厳しくしてほしい ・ もう少し子どもの遊ぶところを増やしてほしい 	・ こどもは自分で計画を立てて勉強をすることが苦手です。だからおとなはこどもが困っている時には助けてください。 ・ こどもが安全に楽しく過ごせる場所や勉強する場所が欲しいです。おとなはそのような場所を考えて作ってほしいです。 ・ こどもは自分のやりたいことを自分で決めたいし、やりたくないことは無理にさせられたくありません。おとなはこどもの意見をよく聞いて、一緒にやることを決めてほしいです。



さん かしゃ こうこう ねんせい めい こうこう ねんせい めい
参加者：高校2年生(5名)、高校3年生(6名)

▼実施内容

れいわ ねん ど しょうがっこう ねんせい ちゅうがっこう ねんせい たいしょう おこな こ けんり
令和7年度に小学校4年生と中学校2年生を対象に行った「子どもの権利」と「こ
ども基本法」の学習とアンケート調査の結果を高校生に紹介し、その後、アンケー
トやワークショップで集まった「こどもの思い」をもとに、「おとなへのメッセージ」
をみんなで出し合い、まとめました。

▼ワークショップの様子



▼高校生からの意見

※記載についてはワークシートに書かれた原文を尊重し、そのままの内容を記載しています。

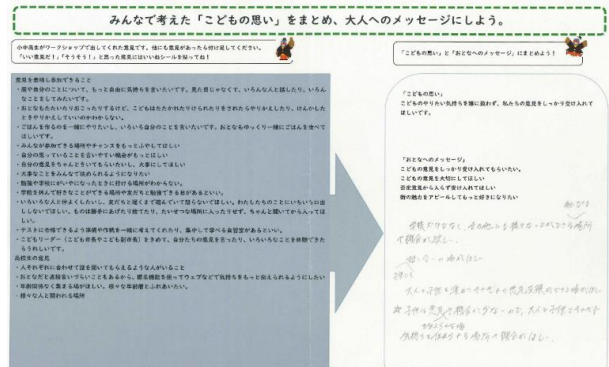
こうこうせい いけん 高校生の意見	まとめ(おとなへのメッセージ)
・社会に出る前に法律のことや常識、マナーについて学べる場を設けてほしい(政治の仕組みなど) ・将来をみとうせるように、もっと職業を知る機会がほしい ・将来、自分ができる選択について知れる機会が欲しい ・自分の将来への見通しが持てるようにしてほしい ・興味のあることややりたいことに挑戦できる環境にしてほしい ・自主性を重んじつつ、適度なアドバイスをさずけ	・こどもは社会の仕組みについてよくわかっていなくて不安です。だから社会にでるまえに、政治の仕組みや法律、常識について学べる場をつくってほしいです。 ・こどもは将来や職業などについてあまり知る機会が少ないと思うので、おとなにはもっと学生のうちに様々なことを知る機会を増やしてほしいです。 ・こどもは、将来が不安だから、大人は今からちゃんと安心できる環境をつくってほしい。 ・こどもは、自分のしたいことはたくさん挑戦したいと思っています。おとなは、そのこどもの

る

- ・頭ごなしに叱るのではなく、一度話を聞いてあげることが大切
- ・子どもがやりたいと思ったことは尊重する（子どもの挑戦を後押しすべき）
- ・個人差 学生時代
- ・自分の意見を言いやすい環境を作してほしい
- ・親が当時と比べないでほしい
- ・子どもの心の健康のためにみんなが楽しく過ごせる日が必要で、色々なことに挑戦させてほしい
- ・親同士でけんかしない土日をつくって、子どもの興味があることに没頭できるように見守ってほしい
- ・親が学生だった時の時代と比べないでほしい
- ・個人差があることを理解してほしい

意見を尊重しつつ、子どもの過ごしやすい環境をつくってほしい。

- ・子どもは、意見を持っているから、おとなは、意見を話しやすい環境にしてほしい
- ・子どもはのびのび生きたいので、大人は個人差を理解してほしい。



- ・否定せず、最後まで話を聞いてほしい
- ・子どもにもやりたいことがあるから、理想をおしつけないでほしい
- ・やりたい事のじゃまをしないでやらせてほしい
- ・メイクや服装を頭から否定するのはやめてほしい、自分にとっては自信を持つためのじゅうようなしゅだんであるため。限度は守るし、式典など正式な場では控えるので。
- ・興味を持ったことを否定されずに挑戦できるようにしてほしい（新しいスポーツ、留学とか）
- ・学校だけでなく、その他にも様々なことができる参加できる場所や機会が欲しい
- ・子どもも話し合いの場が欲しい
- ・おとなと子どもを集めてそれぞれの意見交換ができる場が欲しい
- ・ルールとかについて自分たちで話し合っ変えられる機会が欲しい
- ・服装とかに決まりがある場合は、着ている子どもたちの意見を聞いて臨機応変に対応してほしい

- ・子どもが新しいことに挑戦したいと思った時に否定から入らず話を聞いてほしいです。そしておとなはそれについて手助けしてほしいです。
- ・子どもは意見を伝えられる場が少ないので、おとなと子どもでそれぞれ気持ちを伝えられる場所や機会がほしい。
- ・子どもは、自分を表現する機会が欲しくて、おとなはその意見や自分自身が否定されず周りに表せる場をつくってほしい。
- ・子どもは、一人の人間として接してほしいと思っています。おとなは、子どもが知る機会を増やして意見を表明できる環境を作してほしい。
- ・子どもは、たくさんの人と関わりたいと思っている。学校やイベントでたくさんの人と関われる場をつくってほしい。
- ・子どもは意見を表明しずらいと感じているので、おとなはそれをしやすい環境を設けてほしい。

・まず意見^{いけん}を表^{ひょう}明^{めい}しや^しやすい場^ばが必^{ひつ}要^{よう}



だい かい
第4回ワークショップ 令和8年6月13日(土) 実施

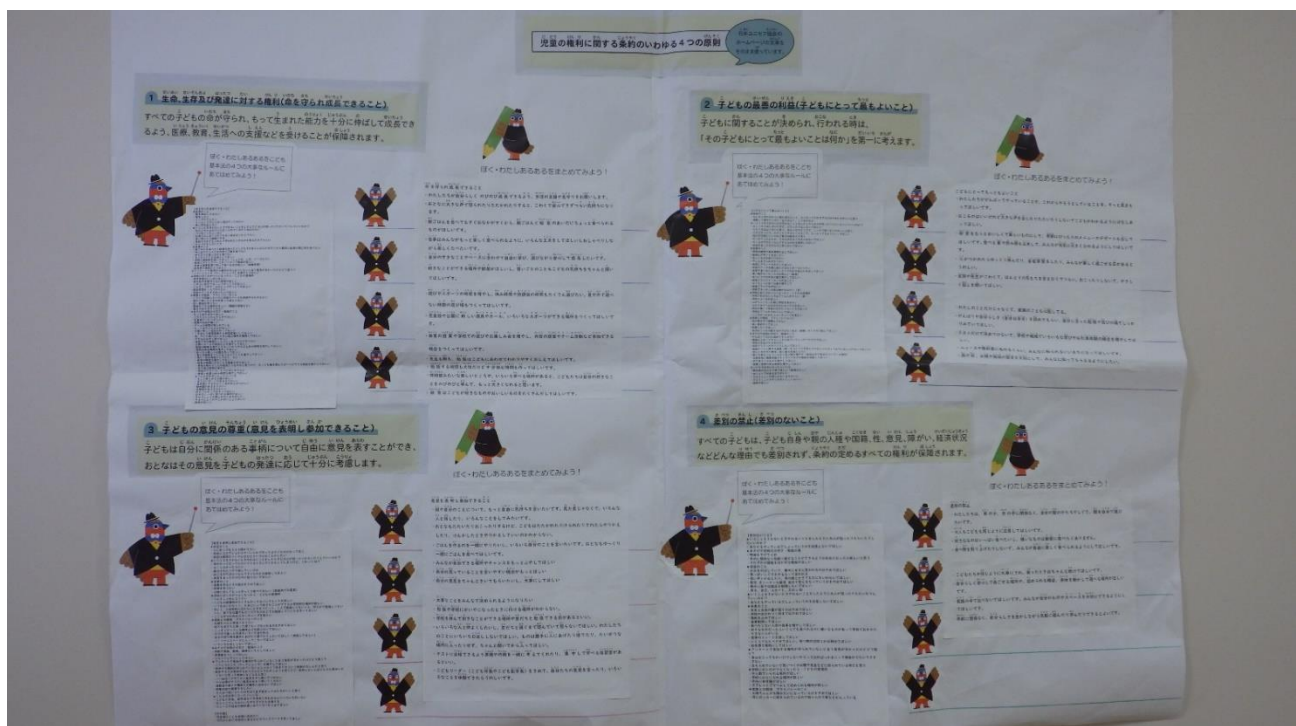
さん かしや しょうがく ねんせい めい しょうがく ねんせい めい しょうがく ねんせい めい
参加者：小学2年生(2名)、小学3年生(1名)、小学4年生(1名)

しょうがく ねんせい めい こうこう ねんせい めい
小学6年生(3名)、高校3年生(1名)

じっしないう
▼実施内容

はな あ はっぴよう じゅんばん き れんしゅう あと らいじよう かた
話し合いで発表の順番を決め、練習をした後、来場したおとなの方たちへ「こ
もの思い」と「おとなへのメッセージ」を発表しました。

はっぴようかい ようす
▼発表会の様子



第5回ワークショップ 令和8年9月26日（土）実施

参加者：小学校2年生（2名）、小学校3年生（1名）、小学校4年生（1名）

小学6年生（2名）

▼実施内容

条例に掲げる「こどもの思い」を確認した後、第6条の「こどもにできること」について参加者で意見を出し合い、第6条「こどもにできること」の第1号から第3号を以下のように決めました。

（こどもができること）

第6条 こどもは、自分もまわりの人も大切にし、自分で考え、決める力を少しずつ育みながら、社会の中で周囲と比較されることなく、一人の個人として尊重されて自分らしく成長できるよう、次に掲げることに努めるものとする。

（1）まわりの人の気持ちを考えて助け合う

（2）好きなことだけではなく嫌いなことも取り組む

（3）将来のことを考えながら、自分にできることを考えて行動する

▼ワークショップの様子



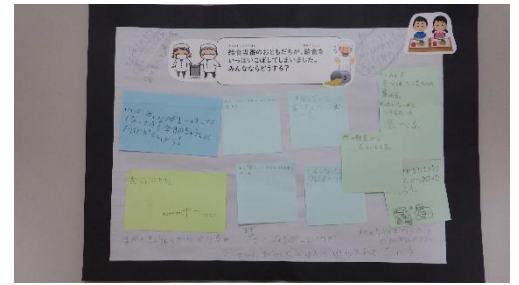
▼こどもの意見

※記載についてはふせんに書かれた原文を尊重し、そのままの内容を記載しています。

たとえば給食の時間。給食当番のおともだちが、給食をいっぱいこぼしてしまいました。みんなならどうする？

- ・いいよ、みんなのカレーはなくなったから、今日のきゅうしょくだけでがまんしよう！
- ・他のクラス、学年によびかけて集める
- ・給食を食べないで家にかえたらいっぱい食べる

- ・とりあえず、たべられそうなものを^{あつ}集める、もったいないから、できるだけ^た食べる
- ・^{ほか}他の^{きょうしつ}教室からもらってくる
- ・^{だい}大じょうぶとゆう（もしもちがかったらボーっとする）
- ・もし、すでにもらっている^{ひと}人がいたら、あげる
- ・こぼしちゃったしゅるいの^{きゅうしょく}給食だけたべない
- ・あとかたづけをしてとなりのクラスからあまっていたらもらう



まとめ

「^{こま}困った人がいたときはその人の^{ひと}気持ちを^{かんが}考えて^{たす}助け合います。」



たとえば給食の時間。給食当番のおともだちが、給食をいっぱいこぼしてしまいました。みんなはどうする？

ふせんにかいてみよう！

とくいなこと・ふとくいなこと・すきなこと・きらいなこと・ちょうせんしたいことをふせんにかいてみよう！

<とくいなこと>

- ・^{すいえい}水泳、^{はっぴょう}発表、^え絵、ダンス
- ・^{こうさく}工作、おえかき
- ・かべのぼり、^き木のぼり
- ・読書、マラソン、勉強、水泳

<好きなこと>

- ・テニスゲーム（^{しあい}試合）
- ・^{はし}走る系、^{けい}スノーボード（^{にい}新がた^{りょ}旅^{とき}このの時）、^{けい}ピーマン、^{なげる}なげる系、^{さん}さん^み味が^{つよ}強い^{もの}物
- ・^{バレエ}バレエ、イラスト、^{こうさく}工作、ダンス、^{すいえい}水泳、^{うんどう}ストレッチ、^{うんどう}運動、さいほう、レゴすること、ノートまとめ、^{かね}お金、いっぱい^いたべること、^いじゅくに行くこと、^いディズニーに行くこと
- ・^{うんどう}運動、サッカー、ゲーム、^{ひこうき}ひこうき、^{おんがく}音楽をきく、おかし
- ・^{かね}お金、^かロブ^{ちゅう}ブロックスのたまごをぬすむ、^{おし}せい虫の虫、とかげ、^{かな}かなへび、^{にく}お肉、ピザ、ぎょうざ、からあげ

<にがてなこと>

- ・^{うんどう}運動（^{すいえい}水泳、ダンス以外）、^{いがい}暗記、^{あんき}さいほう、^{ふく}服をくむこと、^{りったい}立体の^{せつだん}切断、^{へいめんずけい}平面図形
- ・バスケット、^{おんがく}音楽のじゅぎょう
- ・^{みぎて}右手・^{みぎあし}右足でなにかをすること
- ・^{むし}虫のようちゅう、きのこ、えび、かに、かい、なす
- ・おどされること

<きらいなこと>

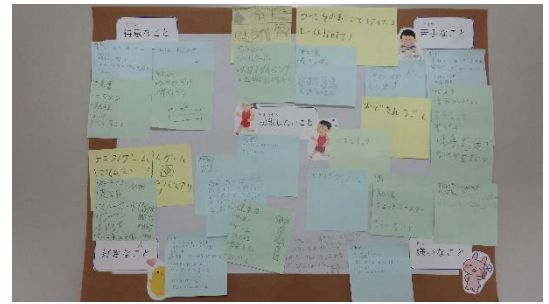
- ・^{むし}虫、^{べんきょう}勉強、ジェットコースター
- ・トマト
- ・^{うんどう}てつぼうをすること、^{あじ}マッ^{ちゅう}ト運動、^{うめぼ}味つけなしこんぶ、梅干し、コーヒー、プリンのカラメル

<ちょうせんしたいこと>

- ・さいほうで^{ふく}服づくり、ポップダンス
- ・えんげき、アスレチック
- ・アスレチック
- ・とかげつりたい



★とくいなこと・ふとくいなこと
 ★★すきなこと・きらいなこと
 ★★★ちょうせんしたいこと
 ふせんにかいてみよう!



まとめ

「好きなことだけではなく^{きら}嫌いなことも^{がんば}頑張ろうとします。」

みんながおとなになるためにできること、じぶんのせいちょうのためにできることは何だろう？

- ・どりよくスル
- ・べんきょうする!
- ・むしとり
- ・お^{てつだ}手伝い、^{きょうりょく}協力する(家族や友だち)、^{じぶん}自分の好きなことを^{ぜんりょく}全力で^{がんば}がんばる
- ・^{はたら}働いて^{かね}金かせぐ(バイト)
- ・^{かじ}家事を^{おぼ}覚えとく
- ・しょうらいのプランを^た立てる



みんながおとなになるためにできること
 じぶんのせいちょうのためにできること
 は何だろう?

ふせんにかいてみよう!



まとめ

「^{しょうらい}将来のことを^{かんが}考えながら、^{じぶん}自分にできることを^{じぶん}自分で^{かんが}考えて^{がんば}頑張ります。」

6. こどもまんなか条例制定ワークショップ参加者アンケート集計結果

れいわ ねん がつ にち げんざい
(令和8年6月13日 現在)

質問 集計結果	①あなたにあてはまるものを選んでください
7	しょうがくせい 小学生
0	ちゅうがくせい 中学生
21	こうこうせい 高校生

質問 集計結果	②ワークショップと発表会の満足度をおしえてください
14	とても満足 (意見もいっぱい言えたしとても楽しかった)
13	満足 (意見もまあまあ言えたし楽しかった)
1	どちらともいえない (わからない)
0	やや満足 (あまり意見が言えなくて楽しくなかった)
0	不満 (まったく意見が言えなかったし楽しくなかった)

質問 集計結果	③今回のワークショップは子どもの権利について考えるきっかけになりましたか？
19	とてもそう思う
8	そう思う
1	どちらともいえない (わからない)
0	あまりそう思わない
0	そう思わない

質問 集計結果	④ワークショップでいちばん頑張ったことは何ですか
4	たくさん意見を出すこと
14	みんなで話し合ったり考えたりすること
8	みんなの意見を聞くこと
1	みんなで発表すること
1	その他自由意見（すべてに〇）

⑤ワークショップで特に印象に残ったことや心に残ったことは何ですか？（自由記述）
・子供の意見でもみんな違う意見をもっていて、思うことがたくさんあるのだと感じた。 ・子供の人権についてあらためて学べるきっかけになった。 ・意見を考える時間は日頃あまり考えたことのないことについて考えたのでよい刺激になった。 ・みんな意見だすのうまかった。 ・皆の意見を合わせて考えることで、自分では思いつかないような新しい考えを身につけることができた。 ・他の子どもの意見も知ることができて良い経験をするのができたと思った。 ・全員の意見をまとめて一つの文章を作り上げること。また、子供たちの多種多様な意見を知れたこと。 ・はなしあったこと ・皆色々思っていることがあるんだなって思いました。 ・自分の地域はあんまり発達していないこと、施設が充実していないことがわかった。あといざ自分の意見を言おうとしたらでないことがわかった。 ・みんなすごい！ ・自分ひとりの意見だけでなく、みんなの意見も聞き、話し合うことがとても興味深く楽しかったです。 ・普段、条例についてあまり考えたことがなかったから、改善してほしいことについて考えること、自分の意見を出して共有することがとてもいい経験になりました。 ・大人に求めるものって、友達の見解や、紙に書いてある意見を見ると、1人1人違ってみえるけど、どれも、子どもの権利を守るために必要なことなんだと思いました。 ・人によって考えていることは違うので一人一人の意見を尊重するのは大切だなと思った。

- ・自分の意見を出すことの難しさが印象に残りました。
- ・いろいろな人の意見を聞いて自分では出せなかった考えを知れたこと。
- ・こんなふうに子どもの意見が言える場所がたくさん増えたらいいなと思った。
- ・みんなそれぞれ違った視点を持っていて面白いと思いました。
- ・こどもは一人の人間という意見が特に印象に残った。
- ・子どもたちの意見に目を通した時、「自分が幼かった時はどうだったかな」と思い返しました。また、意見を尊重しなければならないと感じました。
- ・今まで「こうだったらいいのに」とか「もっとこうしてほしいな」などと少しもやもやしていたことが、今日言葉にできてすごく心に残りました。
- ・違った意見がたくさんでたことから、まだ問題がたくさん残っているおどろきが印象に残った。
- ・友だちといっしょに、できるのがたのしかった。
- ・とにかく楽しく勉強もいっしょにできた。
- ・意見がたくさん言えて楽しかった。
- ・子どももあるあるをだすこと。
- ・子どもの権利に自分が参加できたこと。他の学校の人たちと会えたこと、発表を行うことができたこと。
- ・ひとそれぞれの考えがあっておもしろかったし、困っていることもよく分かった。また、こんな機会があったら参加したい。
- ・はっぴょうのとききんちょうした。

（令和8年6月13日現在）

① こどもの意見を聞いて感じたことは何ですか？（自由記述）

- ・ こどもにはこどもの考え方や感じ方がある。
- ・ もっと生徒、子どもの話をしっかり聞かないといけないと思いました。
- ・ 生徒の視点から素直な考えが表現できていたと感じた。
- ・ 率直な気持ちを述べてくれましたね。
- ・ 年齢に関係なく、自分達の「思い」があることが再発見できました。
- ・ 小さい子から高学年の子まで、それぞれ大人たちにはなかなか言えない思いがあるのだと改めて感じました。
- ・ うんうんと思うような事がたくさんありました。
- ・ こちらが思っている以上に色々なことを感じたり考えたりしているのですね。
- ・ 子どももひとりの人間、素直な意見はっとさせられることもあった。
- ・ 自分の孫達と同学年の子どもの発表を聞いて、考えさせられました。いかに子どもの目線に立ってみられるかと思う。
- ・ 発言する場所をどう考えるか、子供達はしっかりと考えているので、学校・家庭の中でもどの様に意見をすい上げるか、その手法なども考えていくべき。子供議会など
- ・ 大人とは視点がちがうのでおもしろい勉強になりました。
- ・ 身近な事を素直に発表できていると感じました。自分の気持ちを表せていました。
- ・ 子どもたちが地域や学校生活について自分の考えをしっかりと、真剣に話し合っていたことに感銘を受けました。大人が考える以上に、子どもたちは身近な課題をよく見ており、意見を表明する機会の重要性を改めて感じました。

② こどもの発表で特に印象に残った内容は何か？（自由記述）

- ・ ほかに人と比べないでほしい。
- ・ スマホ、ゲームについては大人世代と大分意識が異なると思うので、話し合う必要があると思いました。
- ・ 「生徒の意見が表現できる場を設けてほしい」
- ・ 生命に関わる事が述べられていたことです。
- ・ 食事や遊び場の意見が多く、子どもらしさを感じました。
- ・ 子供市長や子供が子供のイベントに参加、企画することは良いことだと思いました。テントの中でご飯食べるのも、楽しそうで良いですね！

- ・夏の暑い日や雨の日に遊べるような所、習い事ができるような所。
- ・ルールを守らせることや決まりに従わせること（正しいこと）であっても子供の心に負担をかけているのだなと思いました。
- ・みんなきんちょうしながら、一生懸命伝えてくれる姿がすばらしかったです。
- ・今でも怒ったり大声で話したり、たたいたりすることがあるんだと実感しました。子ども達と話を（子ども目線）この大切さを学ばさせていただきました。
- ・給食のこんだてのはなしがかなりあった。子供達にこんだてを考えてもらい、月に1度はそのメニューにしてはどうか。
- ・雨の日でも遊べる場所（やはり室内遊び場）は必要と思った。
- ・普段の生活の中で、改善してほしい事、たたかないで。
- ・遊び場、居場所がほしい、食事面などたくさんありました。
- ・「子ども市長（副市長）」の提案や「自分たちでミーティングを提案して主体的に活動したい」という内容が印象に残りました。自分たちの意見がまちづくりに反映されることを期待している姿勢が強く伝わってきました。

③こどもの意見を踏まえて、ご自身のどのような行動や変化を考えていますか？（自由記述）

- ・まずはこどもの考えをよく聞きたい。
- ・大人の意見を「絶対」とせず、子どもの言葉に耳を傾けるようにする（忙しくても…）。
- 大人の都合で様々なものが決まってしまうことが多いので、生徒の考えを聞く姿勢を意識していきたい。
- ・自主的に自由に自分の考えを述べられるよう期待しています。
- ・意見を聴くこと。
- ・日々つい口を出してしまうので、ガマンガマンと自分に言いきかせます…。
- ・やりおわるまで口をださない。
- ・子どもが自発的に考えたり行動したりすることをさまたげない、待つてあげる。意見を尊重し、協力していけるものは叶えてあげようと思いました。
- ・いかに、子ども達と子ども目線で話ができるか。遊んでいる、ゲームしている、お菓子を食べている→それぞれが自分のやりたいことを意見をもってやってよいことの理解をしながら意見交換し見守りたい。
- ・地域でも、子供達の意見を聞く必要性をさらに感じた。イベントなどで、遊ぶだけではなく、話しを聞くこともゲーム形式などと取り入れて行うことも考えていきたい。
- ・子どもが不便に思っていることや、めいわくに思っていることを意識して行動したいと思います。
- ・子どもの話をゆっくり聞いてあげ、意見を押しつけないようにしたいと思いました。

- ・現在、教育行政に携わる者として、施策を検討する際に、子どもの視点をより大切にしたいと考えています。今後は子どもの声を継続的に聴く機会を設け、学校や地域の環境づくりに生かしていきたいと思っています。

④今後、こどもとどのように関わっていききたいと思いますか？（自由記述）

- ・こどもの考えをよく聞いてその人らしさを尊重したい。
- ・考えを柔軟に、子どもをしっかり見ようと思います。
- ・上下関係というのではなく、対等に接していきたい。
- ・こどもの言葉をしっかり聞いてあげたいです。
- ・親の意見を伝え守らせる、のは一昔前のことだと思いました。子どもの意見を聴いた上で、助言サポートすることが重要です。
- ・子供がリラックスしている時に、どう思っているのか聞く機会を増やしたい。
- ・意見を聞いてからどのように対処できたら良いかを考える。
- ・小さな変化にも気づき、成長をともに喜べる親でありたいです。
- ・子どもが何か言いたいときは耳をかたむけて向きあいたいと思います。
- 日々接触しているが大人の意見や感覚でものごとを見ずに、よくみてから発言や意見交換できればよいと思う。
- ・大いに感じているので、今後も参加していききたいし、ワークショップなどを学校の授業などでも取り入れ、学校全体の意見として取りまとめ市に報告することがあっていい。
- ・未来を背負う子供たちが、今現在も未来も楽しくすごせるようにしていきたいです。
- ・自分が思っているより、子どもは色々な事を考え感じていることを胸に、関わっていきたいです。
- ・子どもたちが安心して意見を発信できる環境づくりを進めるとともに、その意見を実際の取組につなげられるよう努めたいと思います。子どもを支援の対象としてだけでなく、先に地域をつくる伴走者として関わっていきたいです。

⑤こどもの意見を受けて、自分自身が改善したい点がありますか？（自由記述）

- ・まずはじっくりこどもの話を聞きたい。
- ・まずは最後まで話を聞くこと（口をはさまず）。正論を言いすぎないこと。
- ・あらためて指導する立場という上からの目線になりがちであることを意識したい。
- ・こども市長さん、議会の議長さんの立場に立てられるよう大人同士が一緒にサポートをしてあげたいです。

- ・意見^{いけん}を聴^きくこと。
- ・忙^{いそが}しくても1日^{いち かい}1回^{で き}は出来^{きよう}るだけ、今日^{けふ}どうだった？とめげずに声^{こえ}をかけたい。
- ・最後^{さいご}まで言^いいたい事^{こと}を聞^きいてから答^{こた}えを出^だす。
- ・いつもより少^{すこ}しだけ待^まってあげること、大^{おお}きな声^{こえ}を控^{ひか}えること。
- ・怒^{いか}りを感じ^{かん}じても一^{ひと}息^{いき}つくことを心^{こころ}がけます。
- ・色^{いろ}んな意^い見^{けん}がありびっくりしましたが、それを知^しったこと^{こと}で今^{こん}後^ごひとつひとつ気^きをつけて対^{たい}応^{おう}したいと思^{おも}います。
- ・聴^きく耳^{みみ}を持^もつこと^{こと}の重^{じゅう}要^{よう}性^{せい}。
- ・ま^じずは自^じ分^{ぶん}も努^{どり}力^{りよく}して、それか^こら子^こ供^{ども}たちにも思^{おも}いをつた^{つた}え^えるよう^{よう}にしたいです。
- ・大^{おとな}人^しの視^{して}点^{てん}だけ^{だけ}で判^{はん}断^{だん}せず、ま^こずは子^こども^{ども}の考^{かん}え^えや思^{おも}い^いを丁^{てい}寧^{ねい}に聴^きく姿^し勢^{せい}をさ^{たい}らに大^{たい}切^{せつ}にし^したいと思^{おも}います。ま^こた、子^こども^{ども}の意^い見^{けん}を施^し策^{さく}や取^{とり}組^{くみ}に反^{はん}映^{えい}でき^きるよう意^い識^ししていき^{いき}たいで^です。

⑥ 今^{こん}回^{かい}のこ^こどもま^まん^んな^なか条^{じょう}例^{れい}制^{せい}定^{てい}ワ^わー^くク^しョ^っッ^ぷ発^は表^{ひょう}会^{かい}の感^{かん}想^{そう}を^きお聞^きかせ^{かせ}く^くだ^ださい

質問 ^{しつもん}	(質問) 本 ^{しつもん} 日 ^{ほん} の発 ^は 表 ^{ひょう} は ^は い ^い か ^か が ^が で ^で した ^{した} か ^か ？
9	と ^よ て ^よ も良 ^よ か ^か った
4	良 ^よ か ^か った
0	普 ^ふ つ ^つ う 普 ^ふ 通 ^{つう}
0	あ ^よ ま ^よ り良 ^よ く ^く な ^な か ^か った
0	良 ^よ く ^く な ^な か ^か った
1	無 ^む 回 ^{かい} 答 ^{とう}

⑦ そ^たの^い他^{けん}ご意^き見^{けん}が^きあ^きり^きま^きし^きたらお聞^きかせ^{かせ}く^くだ^ださい。(自^じ由^{ゆう}記^き載^{さい})

- ・も^おっ^おと大^{おお}人^{にん}数^{ずう}で、授^{じゅ}業^{ぎょう}、形^{けい}式^{しき}でや^おっ^おても面^{おも}白^{しろ}いと思^{おも}いま^ました。
- ・こ^おの^おショ^{しゅ}ッ^{ぎょう}ッ^{けい}がも^おっ^おと多^{おほく}く^{さん}の参^{さん}加^かがほ^{こう}しい^{こう}です^{せい}ね。高^{こう}校^{こう}生^{せい}や中^{ちゅう}学^{がく}生^{せい}も期^き待^{たい}していま^ます。
- ・も^{なが}っ^じと長^{かん}い時^き間^{かん}、じ^きっ^きく^きり聴^ききたい^きです。「想^{おも}い」は伝^{つた}わ^{つた}り^りま^ました。
- ・学^が校^{っこう}の授^{じゅ}業^{ぎょう}な^おど^なでも、同^{おな}じ^{おな}よう^{よう}なワ^わー^わク^くショ^{しゅ}ッ^{ぎょう}ッ^{けい}をク^くラ^らス^すでや^おっ^おても良^よさ^さそ^そう^うだ^だなと思^{おも}いま^ま

した。お友達の本音が聞けるかも？！

- ・とてもよい取り組みだと思うのでより多くの子供たちが参加できる場所であってほしいと思います。
 - ・子ども達の意見を吸い上げてまとめるのは大変だったと思います。大変お世話になりました。お疲れ様でした。
 - ・このような機会を増やせると良いですね！
 - ・勉強になりました。また、参加させて下さい。
- 今回、このような会に参加することができ子供も成長することができました。ありがとうございました。
- ・子どもの発表を聞いて、自分の子どもたちも聞いてあげられていたかな？聞いたかったなと思いました。
 - ・子どもたちが自ら考え、意見を発信する貴重な機会となっていたと感じました。今後も継続的に子どもの意見を聴く場を設け、その声が見える形で施策やまちづくりに生かされるようになることを期待しています。学校への働きかけやご協力できることがありましたら、遠慮なくお声かけください。

質問 集計結果	⑧あなたの年齢を教えてください。
1	20歳～40歳
9	41歳～60歳
4	61歳～80歳
0	81歳以上

8. 今後のスケジュール

にってい 日程	じっしないう 実施内容	びこう 備考
れいわ ねん がつ 令和8年8月	ワークショップの意見を取り入れてこどもま んなか条例の素案作成	
れいわ ねん がつ 令和8年9月	じぜんしんさ 事前審査	
れいわ ねん がつ にち 令和8年9月26日	だい かい 第5回ワークショップ開催 (こどもまんなか条例の素案を見てみよう)	こどもからの意見を受けて素案 を修正 ワークショップの様子をホーム ページに掲載
れいわ ねん がつ 令和8年9月	こどもまんなか条例の素案を校長会にみて もらい意見をもらう	意見を受け、素案を修正
れいわ ねん がつ 令和8年11月	せいさくけいえいかいぎ ふ ぎ 政策経営会議に付議し、パブリックコメント の実施許可をもらう	12月にパブリックコメントを 実施
れいわ ねん がつ 令和8年12月	パブリックコメント終了後に意見への回答 を作成する	
れいわ ねん がつ 令和9年3月	ぎかい ぎあんじょうてい 議会に議案上程 ⇒ 令和9年4月1日施行を目指す	

▼ワークショップで作成した成果物を市民ホールに掲示しました
(掲示期間 令和8年6月22日(月)～令和8年6月26日(金))

